



先進市着目「安全できれいな街に」

心理作戦で放置自転車減らす
川崎区の学校前路面に貼る
小学6年 学校前の路面に貼る

相次ぐ放置自転車を減らそうと、川崎市川崎区の市立東門前小学校前の路面に児童の絵を貼る取り組みが始まった。「子どもが一生懸命描いた絵の上に自転車は置けないはず」という心理作戦。二十八日には完成記念セレモニーが開かれ、児童たちは「安全できれいな街になつて」と願いを込めて絵を貼った。

(横井武昭)

放置自転車を減らすため、自分たちで描いた絵のシートを路面に貼る児童たち=川崎区で 今年6月の東門前小学校前の放置自転車の状況(同区提供)

同小学校の目の前には京急大師線・東門前駅がある。区によると、学校わきの高齢者や体が不自由な児童らは「安全できれいな街になつて」と願いを込めて絵を貼った。

(横井武昭)

転車が課題となっていた大阪市や横浜市などで、路面に子どもの絵を貼ると放置が減ったという取り組みに着目。「絵を印刷した路面シートを貼れば、自転車を放置する行為を心理的に抑制でき、駐輪マナーの啓発になる」と考え、同小学校に協力を求めた。絵を描いたのは、六年生の百十六人。「東門前まちの未来」を共通テーマ

絵で放置自転車減らせ

相次ぐ放置自転車を減らそうと、川崎市川崎区の市立東門前小学校前の路面に児童の絵を貼る取り組みが始まった。「子どもが一生懸命描いた絵の上に自転車は置けないはず」という心理作戦。二十八日には完成記念セレモニーが開かれ、児童たちは「安全できれいな街になつて」と願いを込めて絵を貼った。

(横井武昭)

転車が課題となっていた大阪市や横浜市などで、路面に子どもの絵を貼ると放置が減ったという取り組みに着目。「絵を印刷した路面シートを貼れば、自転車を放置する行為を心理的に抑制でき、駐輪マナーの啓発になる」と考え、同小学校に協力を求めた。絵を描いたのは、六年生の百十六人。「東門前まちの未来」を共通テーマ

児童の絵で放置防げ



右小学校脇の道路に放置された自転車シートを貼り付ける子どもたち 川崎市川崎区東門前

この日は設置を記念するセレモニーが開かれ、6年生のうち約30人が出席。それぞれの手で貼り付けた。しわが寄り斜めに傾いたりしないよう慎重に作業し、きれいに貼り終わると、子どもたちは笑顔を見せた。

体育館から一望できる学校を描いたという佐々木唯君(11)は「みんな仲良くなっている未来を願った。自転車がたくさん止まって汚いなと思ったけど、これで学校がきれいになるといい」と話した。

(北川文)

自転車マナー向上へ設置

放置自転車を減らそうと子どもたちが絵を描いた路面シートが28日、川崎市立東門前小学校(川崎区東門前)脇の道路上に設置された。子どもたちの色鮮やかな絵で駐輪マナーの向上を図る取り組みで、市内では初の試み。まちの未来予想図を自転車で「踏まない」よう利用者に訴える心理作戦を進めていく。

設置されたのは小学校脇の

放置自転車を減らすため、自分たちで描いた絵のシートを路面に貼る児童の通学路でもあるが、同区道路公園センターによる心理作戦を進めていく。

市は効果を挙げていた横浜市が1日当たり約50台放置されていた。

幅約3m、長さ約100mの道路で、一部は学校の敷地。児童の通学路でもあるが、同区道路公園センターによる心理作戦を進めていく。

同小6年の児童126人が用する人や買い物客の自転車が1日当たり約50台放置されていた。

市は駐輪場へ」と放置自転車ゼロを呼び掛ける啓発用シートと合わせ、約140枚を用意した。

この日は設置を記念するセレモニーが開かれ、6年生のうち約30人が出席。それぞれの手で貼り付けた。しわが寄り斜めに傾いたりしないよう慎重に作業し、きれいに貼り終わると、子どもたちは笑顔を見せた。

体育館から一望できる学校を描いたという佐々木唯君(11)は「みんな仲良くなっている未来を願った。自転車がたくさん止まって汚いなと思ったけど、これで学校がきれいになるといい」と話した。

(北川文)

市内での同様の事例を知り、絵の上に駐輪するのをためらう心理的な効果を狙って設置を決めた。

市内での同様の事例を知り、



路面にシートを貼り付ける児童ら(28日、川崎市川崎区の東門前小学校で)

違法駐輪の自転車が並ぶ東門前の敷地(6月13日撮影、川崎区道路公園センター管理課提供)

敷地内への違法駐輪に悩む川崎市川崎区の市立東門前小学校は28日、防止策として、児童らの絵を印刷したシートを駐輪が多い路面に貼り付けた。絵の上に駐輪することになると心理的効果や、周辺住民にマナー向上を呼び掛けられる効果が期待できるといふ。子供たちの願いは届く

か?

児童の絵で駐輪防止 東門前小敷地 路面にシート140枚

か。

貼り付けた。

街の風景や校舎などの絵で彩られた路面は、4×5

年はもつという。参加した佐々木唯君(11)は「初めての体験ですぐ面白かった。違法駐輪がなくなり、街がきれいになつてほしい」と話した。

市もこれに合わせて、15日にこの敷地や隣接する道路の一部を「自転車等放置禁止区域」に指定し、自転車を即時撤去できるようとした。区の担当者は「これを見て違法駐輪が減り、子供たちの通学路がきれいになつてくれれば」と期待している。

2015年(平成27年)9月30日(水曜日)

全協会神奈川駅前放置自転車対策で路面標示シート貼り付け



全国道路標識・標示業連合会(松澤真二会長)は28日、東門前駅(川崎市川崎区)の駅前道路で放置自転車を防止するため地元小学生が描いた路面標示シートを貼り付けた。同協会による放置自転車対策への協力は県内2件目で、松澤会長は大谷雄二川崎区長より感謝状を授与された。当日は川崎区長や川崎警察署長、地元自治会のほか、絵を描いた東門前町長が駅前にて歩道上に貼り付けた。

同協会は歩道に合計

126枚の絵と14枚の啓発シートを設置。松澤会長は「下見に来た時は放置自転車の多さに驚いた。駅前の人通りの多い場所で非常に危険だ。児童の皆さんは今回の経験でマナー・ルールの大切さを学び、後輩にも伝えていてほしい」と話した。